令和元年度　第１回宮城支部評議会の概要報告

開　催　日　時	令和元年７月 19 日（金）10：00～11：50
開　催　場　所	ＴＫＰガーデンシティ仙台勾当台「ホール 2」
出　席　議　員	阿部評議員（議長）、伊藤（卯）評議員、伊藤（紀）評議員、 稲妻評議員、岡本評議員、小田島評議員、佐久間評議員、 佐藤評議員（委任状受理）、舩山評議員（五十音順）
議　題	

１．平成 30 年度決算報告について
２．平成 30 年度宮城支部事業報告について
３．令和２年度宮城支部事業計画策定に向けて

議　事　概　要 （主な意見等）	

◆事務局より、各議題について説明をする。
◆各評議員より、各議題内容に関して意見をいただいた。

１．平成 30 年度決算報告について

【議長】
事務局の説明、報告で理解できたということで了承。
【全会一致】
承認する。

２．平成 30 年度宮城支部事業報告について

【被保険者代表】
労災保険二次給付制度の利用促進、献血（血液検査の結果が通知される）の推奨など、他の制度と連携することで、健康保険を使用しない方法で医療費の削減を期待することを考えてはどうか。

【事務局】
労働局からも労災保険の使用促進が必要であるという話は聞いているが、協会けんぽから労災給付を周知するのは難しい。労災対象の傷病に対しては労災保険が適用されなければならないので、保険の適正な利用を促す観点で、労働局と合同で周知・広報をする機会があれば検討したい。

【学識経験者】
特定保健指導における６か月後の評価のあり方について、健診受診６か月後の評価時期が次

年度の健診を跨ぐことなく、「健診受診から特定保健指導終了まで 1 年で完結する」という形にすることは可能か。

【事務局】

通常１年で完結するように保健指導を受けていただいており、次年度の健診を超えて、前年の結果をもとにした保健指導は実際には行っていない。ただ、保健指導を業務委託している関係で指導開始が月遅れとなり、1 年ぎりぎりになってしまうケースがある。そういったことが生じないようにはしている。

【学識経験者】

資料２参考資料：宮城支部スコアリングレポートについて、「見える化」されていて大変良いものだが、統計としてどのくらいの規模のデータを比較したものなのか。また、内容をみて宮城の喫煙率が男女とも非常に高いことに驚いたが、このレポートをどのように活用していくのか。

【事務局】

スコア（順位）は、各支部の生活習慣病予防健診受診結果と事業者健診データ取得結果をもとにして比較している。ただし、各支部の受診率・取得率は相違しており、かつ、それらの結果を使用しているので、全支部が全く同じ条件での分析にはなっていない。

また、宮城県の喫煙率が高いということは以前から把握しており、県や仙台市と一体となって受動喫煙対策に取り組んでいるところであり、さらに推進していきたい。

このような支部スコアは今回初めて作成された。平成 29 年度のものなので若干古い。このまま単独活用するのか、今後 30 年度のものが出た段階で経年変化をみて広報するのか等、検討させていただきたい。

３．令和２年度宮城支部事業計画策定に向けて

【被保険者代表】

健康保険委員の新たな活用方法を検討してはどうか。健康保険委員研修会は開催しているが、毎年同じようなテーマでの研修となっていると感じられ、また、健康保険委員から社員にどのくらい情報が周知されているのか疑問を持つ部分がある。

【事務局】

健康保険委員研修の内容は検討し充実させていきたい。事業所内での情報周知は健康保険委員の皆さんが行っていただいていると認識しているが、加入者の皆さんにきちんと情報が伝わるよう方法等を検討させていただきたい。また、職場健康づくり宣言登録、健康経営優良法人認定制度への申請の促進等を活用して、事業所内での取組みを強化していただきたいと考えている。

【被保険者代表】
　協会けんぽ加入者へのスポーツクラブの優待があるが、利用者が少ないと感じる。スポーツクラブに入会までしなくてもスポーツに取組みやすくなるような情報（地域の運動サークルの紹介、新しいスポーツ種目の紹介など）を広報することで、健康づくりにつながるのではないか。
【事務局】
　運動促進の取組みについては、職場健康づくり宣言事業所登録のインセンティブに掲げており、今後拡大できるところは対応していきたい。

【被保険者代表】
　健康保険情報を簡単に記載した若い人にもわかりやすい冊子を、保険証交付時に同封するなどして配布してほしい。
　また、広報誌の内容を表紙から刷新して目を引くようなものに変えてはどうか。
【事務局】
　保険証と同封して冊子等を配布することに関しては、保険証の発送をアウトソースで行っているため、同封できるか確認が必要であり、検討していく。
　広報誌のデザイン変更については検討したい。

【被保険者代表】
　働き方改革で残業時間の削減が進んでいく中で、今後標準報酬が下がっていくことが予想される。保険料収入が減ることになると思われるが、どのように考えるか。
【事務局】
　労働人口が減っていく中で加入者数も減っていく可能性はある。保険料の収入減になっていくこともありえると考えている。

【議長】
　広報においては、ＳＮＳの活用やアプリの開発も有効。今後は本部主導で進めていただきたいという思いがある。

【事業主代表】
　これからさらにＩＴを利用していく時代になる。セミナー等についても、協会のホームページで配信し多くの方が閲覧できるような形をとることも効果が大きいのではないか。また、広報については、経費削減の点から、インターネットを活用する方法は有効だと思う。中長期的な計画を立てて取り組んでほしい。
【事務局】
　ご意見を参考に、検討させていただく。

【事業主代表】
支部スコアリングのようなデータの活用方法として、宮城支部の現状と、他県との比較、「だからこうしよう」といった呼びかけを、宮城支部として発信していただきたい。
【事務局】
ご意見を参考に、検討させていただく。

【被保険者代表】
出前健康づくり講座について、被保険者数 20 名以上という申込みの条件を再検討した方がよいのでないか。受講者数が多いことに意味があるので、実際に受講する数に視点を置いてはどうか。
【事務局】
開催回数に上限を設けているため、より多くの方に受講していただきたいという考えから条件を設けているところである。今後検討していきたい。

【学識経験者】
宮城県の取組みを紹介する。アルコールに関する取組みになるが禁酒ではなく節酒（適正禁酒）を勧めている。沖縄では節酒によりメタボ減少の他、節煙の効果がみられたという結果が出ている。このような新しい視点からの取組みもお願いしたい。

特　記　事　項
・傍聴者なし。 ・次回開催は 10 月予定。